



平成30年度 生涯学習リレー講座〈江別の歴史と未来をつなぐ挑戦者たち〉

講座1 リンゴの唄作曲家万城目正と母のこと

講師/元情報図書館長 佐々木 孝一氏



まづこの曲から
まづ愛染かつらのDVDを見
ながら話し始めました。この映画

のフィルムは松竹でも今はこれしかないと言われる貴重な映像でした。有名な柱の木で告白する場面が出てくるのですが、これは今というナンパですよ、と語っていました。三部に分かれているのですが全部そろったフィルムはなく、総集編の中からファイルを選んで上映していました。

作曲家・万城目正は映画音楽の作曲を多く手がけました。講演しながら「リンゴの唄」映画「そよ風」の挿入歌がかかると、会場の受講者が小さな声で歌っ

ていました。戦争で家族を亡くして暗くなりながら並木路子を、万城目正が励まして、明るく歌わせたのだそうです。

万城目正と江別の縁は、教師のお母さん(ふじほさん)が江別小学校に赴任し、小学校3・4年生の2年間江別で過ごしたことです。お母さんは江別饅頭の松本さんから寄贈された山菜(現ヤマハ)のオルガンをひいていました。万城目正は働く母のイメージから多大な影響を受け、生涯270曲を作曲しました。

万城目正は歌手をみて有望な歌手がわかったようです。高峰美枝子、美空ひばり、島倉千代子な

どに曲を提供してあげたようです。その他にも男性歌手のヒット曲もあるそうです。

万城目正は、新人歌手を育てるが、63歳で大腸がんになり、若くしてお亡くなりになりました。

今までリレー講座で歌を聴いたり、DVDを見たりしたことがなかったのですが、とても楽しい気分です。受講者も同じ思いで帰られたと思います。懐かしい曲が聞けた、という声が聞こえてきました。それと歌に合わせて歌っていた受講者が多くいたことで懐かしんでいると思われました。

(総務委員 深瀬 禎一)



講座2 楽しい食育と酒米作り

講師/江別酒米グループ「すいせい」代表 山本宏氏

豊幌地区で農業を営む講師の山本宏氏は、田植えと収穫などの農業体験や、江別の地酒、特別純米酒、瑞穂のしずくの原料となっている酒造好適米「雪星」の生産から販売まで関わる6次産業化の取り組みを長年実践されています。

江別の農業をもっと知ってもらおうと、平成18年から小学生、中学生、高校生、大人を対象に、田植え、稲刈り体験おにぎりつ



くり体験を実施しています。また、毎年9月に酒米の提供先である小林酒造の酒蔵見学と合わせた稲刈り体験ツアーを実施、大人に大変人気です。

講師は、道産米を全国的に有名にしたいという思いで平成12年に産学官の協力を得て「江別の米で酒を造ろう」を旗揚げされました。安全な米と酒を市民に提供したいと考え、土づくりに、減化学肥料・減農薬など環境に優しい農業に取り組み、平成

20年に水稲では江別で初めてとなるエコファーマーの認定を受けました。

道産米でお酒を作りたいと願う小林酒造の杜氏とコラボし、品質の良い特別純米酒を販売し、「江別の米で酒を造ろう」を主催の「新酒発表会」を毎年

講座3 北海道小麦の魅力と可能性
〜今北海道産小麦が本当に面白い〜

講師/コムキーション倶楽部北海道小麦アドバイザー 佐久間 良博氏

「小麦は世界中の人が求める三大穀物の一つ。生命に欠かす事の出来ない主食から菓子に至る資源。私は講演のテーマを聞いた時奥深いものを感じ楽しみでした。

一九七三年えべつ製粉株式会社入社。二〇一四年同社を退職。江別市内はもちろんだ全道各地の小麦ベースの農商工連携事業に携わり、札幌のFM放送局で「北海道小麦好き」のプロデューサーと様々な北海道小麦の価値の向上への活動にたずさわる。

佐久間先生は四苦八苦の苦労をされながら美味しい小麦を探求し続けられました。親しみと優しさを感じさせ、終始笑顔で話される姿に大変癒されました。大変驚きました。趣味は学生



時代から始められたジャズサックスで「サッポロ・シティジャズ」にも出演する等幅広く活躍されておりです。

小麦の話に戻り、その魅力と今後の課題を語る。今求められているのは、安定した品質と新しい品種開発技術。どの場所でも売れるのか、新しい売れ筋を消費者はどう喜んでくれるか、旅で感じる事は風景も美味しい物を食べるのに大事。美味しい環境で食べるのが良い。

最後に、執念を持って物売ると言う意欲の強い人、苦しい時も何となくホットする笑顔をつくる人がいいて仰せになる。

私も何があってもその様に心がけ生きて行きたいと思ひました。

(総務副委員長 内田 ルリ子)



田植え、稲刈り体験おにぎりつくり体験を実施しています。また、毎年9月に酒米の提供先である小林酒造の酒蔵見学と合わせた稲刈り体験ツアーを実施、大人に大変人気です。

講師は、道産米を全国的に有名にしたいという思いで平成12年に産学官の協力を得て「江別の米で酒を造ろう」を旗揚げされました。安全な米と酒を市民に提供したいと考え、土づくりに、減化学肥料・減農薬など環境に優しい農業に取り組み、平成

平成30年度 生涯学習リレー講座〈えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座〉

江別の歴史と未来をつなぐ挑戦者たち

この事業は、2018北海道150年事業として行われています

150
2018年(北海道150年)
Hokkaido 150th Anniversary

会場/江別市民会館 2階 211号室 (江別市高砂町6番地)

講座1 9月14日(金) 18:30~20:00 (定員100名/受講料無料)
『リンゴの唄』作曲家万城目正と母のこと
講師:元 江別市情報図書館長 佐々木 孝一氏

講座2 9月21日(金) 18:30~20:00 (定員100名/受講料無料)
『楽しい食育と酒米作り』
講師:江別酒米グループ「すいせい」代表 山本 宏氏

講座3 9月28日(金) 18:30~20:00 (定員100名/受講料無料)
『北海道産小麦の魅力と可能性
〜今、北海道産小麦が本当に面白い〜』
講師:コムキーション倶楽部 北海道小麦アドバイザー 佐久間 良博氏

申込み方法/電話、メール、FAX、申込書郵送により受付いたします。FAX、郵送の場合は裏面の「参加申込書」をご利用ください。※メールの場合は、名前、住所、電話番号、受講希望講座名を必ずお知らせください。

お問い合わせ先/江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習係)
〒067-0074 江別市高砂町24-6

TEL 011-381-1062 / FAX 011-382-3434
E-mail shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

江別市生涯学習推進協議会 ホームページ: http://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会/

〈主催〉 江別市生涯学習推進協議会

視察調査に参加して

江別美術協会 成田 風子

去る、平成30年10月17日、千歳市にて千歳市内の生涯学習の取り組みを行っている施設の見学及びその施設での取り組みの内容を伺い、意見交換をしてまいりました。

まず、千歳市民ギャラリーと市民活動センター「みなくーる」を見学いたしました。施設の入るビルは以前、商業施設だったものを1F・2Fを市民ギャラリー、4Fを市民活動センターとして利用。市内在住者もとより、市外の方の利用も可能としておりギャラリースペースも広く、駅から近く、利用しやすい施設となっていました。利用料も江別市同様、減免措置もありそれぞれの目的に合った活動がしやすい工夫がされていました。



また、又、小さな会議が開きやすいよう椅子、テーブルも多く、一角には作品展示のスペースもあり、気軽に立ち寄れる場所という印象を受けました。

次は千歳市文化センター(北ガス文化ホール)を見学しました。1,200名収容の大ホールと、4,000名収容の小ホール、更に100名収容のプラネタリウムも備えた施設で座席も見やすく工夫されており、こちらも駅から近く、地形を巧みに利用した施設でした。

その後、千歳市教育庁舎にて意見交換を致しました。千歳市では生涯学習の発表の場として、年に1回「ふるさとポケット」というイベントを街の中心

で行っています。江別市教育庁舎より、26名がバスに乗りし、一路千歳市へ。生涯学習において先進的な取り組みをしている地域の

のグリーンベルトにて開催。毎年1万人の参加があり、各小学校の子どもの絵をポスターにし、絵画展を開催。又、自衛隊員の出身地の味処を設けたり、スタージョーカーでの発表など、こちらのイベントが協働のまちづくりのイベントとして重要と伺いました。

他、民間誌「ちゃんこ」(週1回、カラー紙)での広報も行っており市民が役所まかせのまちづくりではなく様々な人を巻き込む仕組み作りを展開中のお話でした。

今後、江別市での生涯学習とまちづくりとの関わりを考える上でヒントになるお話を伺えたのでは、と思いました。

移動し、昼食にのんびり弁当をいただき和やかな時を。その後のセンター施設の見学は大・中二つのホールでした。大ホールは1,275名が収容できる広さと、舞台も奥行きもあり、催し物によって調整できる装置になっていました。

大ホール横は世界地図の輪郭を浮かびあがらせたすばらしいものでした。客席両サイドはラウンジが使われており、このレンガが使われているか関心のあるところでした。

また、隣接して中ホールもあり412名の収容、外への出入口は一三階まであり利便性を感しました。

その他プラネタリウムでは、スカイライン投影機で映し出された360度の満天の星空を親切的な説明付きで鑑賞させて頂き、大変勉強になりました。

最後に向かったのは、千歳市役所。ここではちとせ生涯学習まちづくりフェスティバルふるさとポケットに

ついてくわしく説明を受け、規模の大きさを知る事が出来ました。生涯学習活動の広報、生涯学習に関する取組等についての説明と意見交換が視察の目的でした。最初に千歳市民ギャラリー市民活動センター、2階とも広々としていました。年間稼働率はまずまずとの事でした。

四階部分には、ミナクールとして、市民の方が自由に使用できる部屋等があり、憩いの広場として楽しめそうな雰囲気でした。

好天に恵まれた10月17日、20数名が乗車したバスが教育庁舎前から出発、生涯学習推進の先進地といわれている千歳市に向かった。車内は数人の男性を除き全て女性の参加者であり、この事業に対する関心度の違い、そんな想いを巡らせているうちに最初の見学施設である「市民活動交流センター(ミナクール)」に着

市の中心部に位置する4階建てビルの最上階フロアが市民の文化・スポーツ・ボランティア活動などを支える施設として10年前にオープンしたという。その設備やイベント情報の発信など、さまざまな活動内容の充実ぶりには目を覚ますものがあった。

野幌駅南口に新たに誕生するといふ、市民交流施設。の姿なども想像しながら熱心に聞き入る参加者の姿が印象的だった。

続いて向かったのは「千歳市民文化センター」。関連施設を含めた大・中二つのホールをメインに陶芸・工芸・調理・研修・各種イベントや会議など多様な文化活動に対応した事業が行われているという。傾斜地に建てられた複雑な建築物という興味もさることながら、本格的な「プラネタリウム」が設置されていることは驚きでもあった。市内の児童・生徒の学びに大きく役立っていることなど羨ましくさえ感じた。外装もホール内の壁面もレンガで覆われた重厚な建築物は、我が江別市を彷彿とさせるものだった。

高齡化が叫ばれる中、千歳市は人口構成では道内有効の若さ、とは言っていたが、ほぼ25%の市民が何らかのかかりがあるという自衛隊の存在が大きいことも実感できた。それは最後に訪れた市役所会議室での懇談会の折に詳細な説明を受けた「ちとせ生涯学習まちづくりフェスティバル(ふるさとポケット)」の催しの中で、東北から沖縄まで10数の県人会が揃ってそれぞれ「お国自慢味処」を展開していることなど、北海道の玄関口とも言われている新千歳空港の存在だけではないことにも納得できた。

平成元年から取り組みをはじめたという、次世代を担う人材や団体等を育成・支援し、市民と共に推進するまちづくりをめざして「鶴は千年熟事業」と表した人材育成事業を始めなど生涯学習推進の先鞭をつけてきた千歳市だが、上記のフェスティバルにしても参加団体の固定化や高齡化など、決まっていながらもできない問題も抱えているという。これまでも「これからは...」という市民に密着した取り組みと市民ひとり一人の構えが必要だという事を痛感した「施設見学会」だった。

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

まなぼう Vol.3

江別市社会福祉協議会について

協)とは、法に基づいて全国の市町村に設置された地域福祉推進の中心的役割を果たすことを目的とした民間の社会福祉法人です。江別市社協では市民をはじめ、ボランティアや福祉保健関係者などの参加と協力のもと、高齢者、障がい者などの給食福祉機器の貸与、除排雪サービスや各種福祉の相談や情報提供などのサービスを行っています。是非利用してください。

※このマークは、全国社協共通のマークで、社を図案化し、手をとりあつて、明るい幸せな社会を構築する姿を表現しています。

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

「えべっ」

これからのイベント

◆江別消費者協会

○消費者ひろば
テーマ「おとなから子どもへ伝える消費者教育」
サブテーマ
「こんなとき/どうしますか?防災知識」
日時/2018年12月15日(土)10:00~15:00
場所/市民会館 小ホール

◆生涯学習インストラクターの会

○「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」
日時/2019年1月26日(土)
10:00受付10:30から11:30まで
場所/野幌公民館和室1・2号
講師/第2大森こども園 園長 近江さつき先生
参加料/無料

子育てのヒントから親子での遊びのヒントなどを教えていただきます。

○「春のパーティメニュー」

日時/2019年2月16日(土)9:30受付10:00
開始13:00まで
場所/野幌公民館 調理室
講師/石狩管内栄養士会会長 尾澤典子さん
参加料/大人1000円、(中学生以下500円)

春に向けておうちでできる、パーティメニューを作ります。
お子様も一緒にどうぞ!!
※メニューの詳細はちらしポスターにて御案内します。

◆江北まちづくり会

○江北ふれあいまつり
日時/2019年2月17日(日) 10:00~
場所/都市と農村の交流センター「えみくる」
第12回目を迎えるイベント
市街地に住民らと、江北地区の人たちの交流を行う場

たのび、千歳市役所。ここではちとせ生涯学習まちづくりフェスティバルふるさとポケットに

たのび、千歳市役所。ここではちとせ生涯学習まちづくりフェスティバルふるさとポケットに



《編集後記》
NHKが開発した人工知能の分析では、読書が健康寿命の延伸に効果的とか。読書と健康は関係が薄いようにも思えますが、心が動くとか体が動く、のだそうです。
江別の生涯学習には様々な活動があります。心と体を動かすきっかけにしたいだければ幸いです。

「えべっ」
今号から手話コーナーにQRコードを掲載します。QRコードをスマートフォンで読み取り、手話の動画をご覧いただけます。

諏訪部 容子